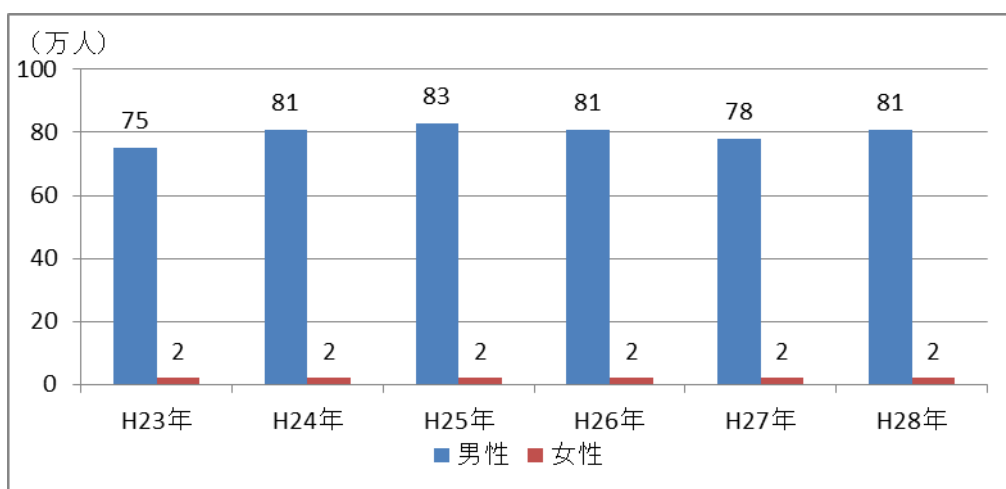


その他統計資料について

1. 労働力（運輸、郵便業のうち、道路貨物運送事業）

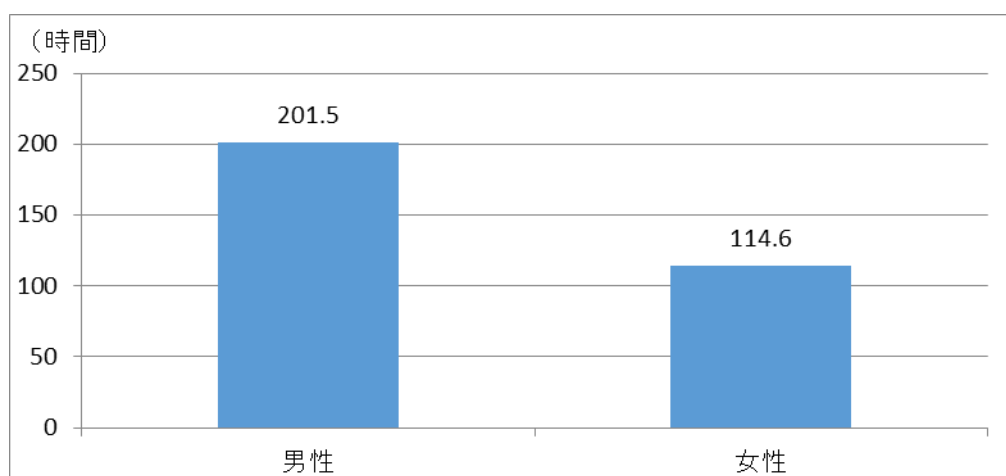
- ・道路貨物運送事業の労働者をみると、H28年は約83万人となっており、うち女性は約2万人となっている。
- ・女性の労働者数は横ばいとなっている。



出典：厚生労働省「労働力人口調査」

2. 産業（道路貨物運送業）、職業別（運搬従事者）の平均月間就業時間

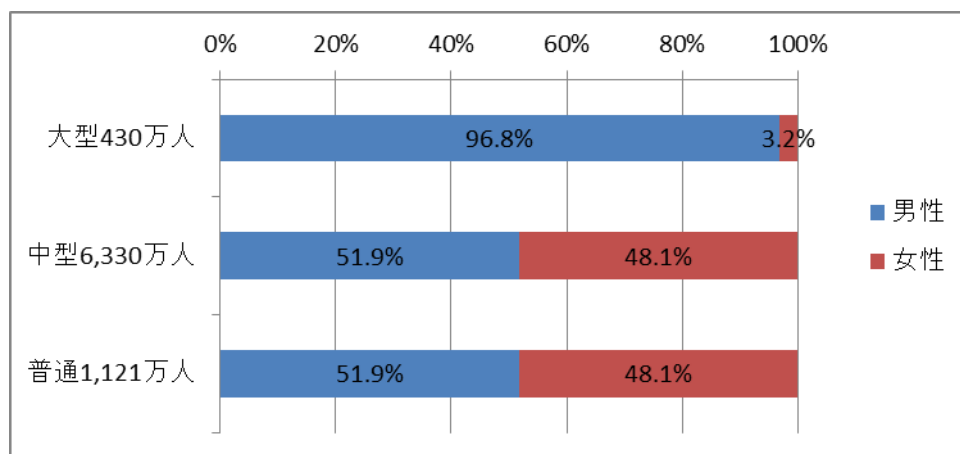
- ・道路貨物運送業・運搬従事者の平均月間就業時間をみると、H28年は男性201.5時間、女性114.6時間となっている。
- ・男女間の差は86.9時間となっている。



出典：厚生労働省「産業、職業別平均月間就業時間」

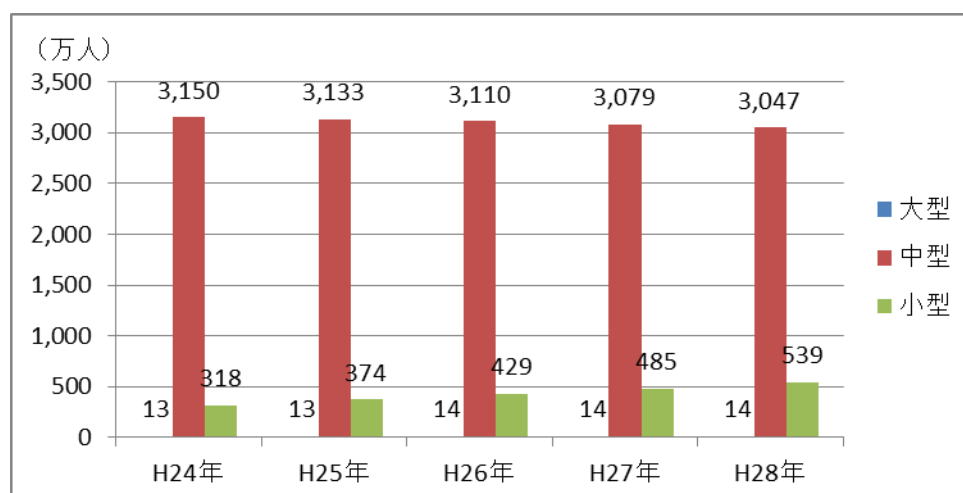
3. 第1種免許の保有動向（特殊、二輪、原付を除く）

- ・第1種免許の種類別に運転免許保有者数は、H28年は大型約430万人、中型約6,330万人、普通約1,121万人となっている。
- ・性別の割合で見ると、大型は男性96.8%、女性3.2%となっている。中型及び小型は、いずれも男性51.9%、女性48.1%となっている。

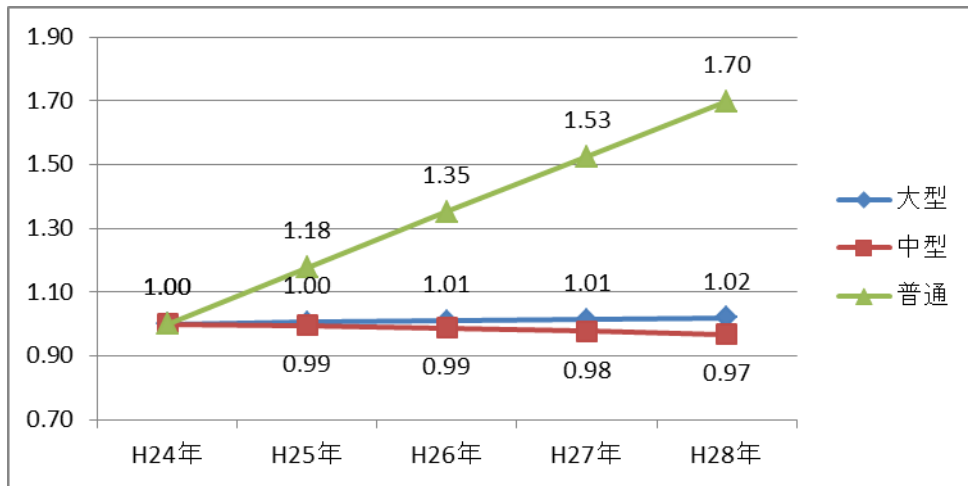


出典：警察庁「運転免許統計」

- ・女性の運転免許保有者数をみると、H28年は大型約14万人、中型約3,047万人、小型約539万人となっている。
- ・H24年を1としたときの女性の運転免許保有者数の推移をみると、大型は微増、中型は微減、小型は増加傾向にある。

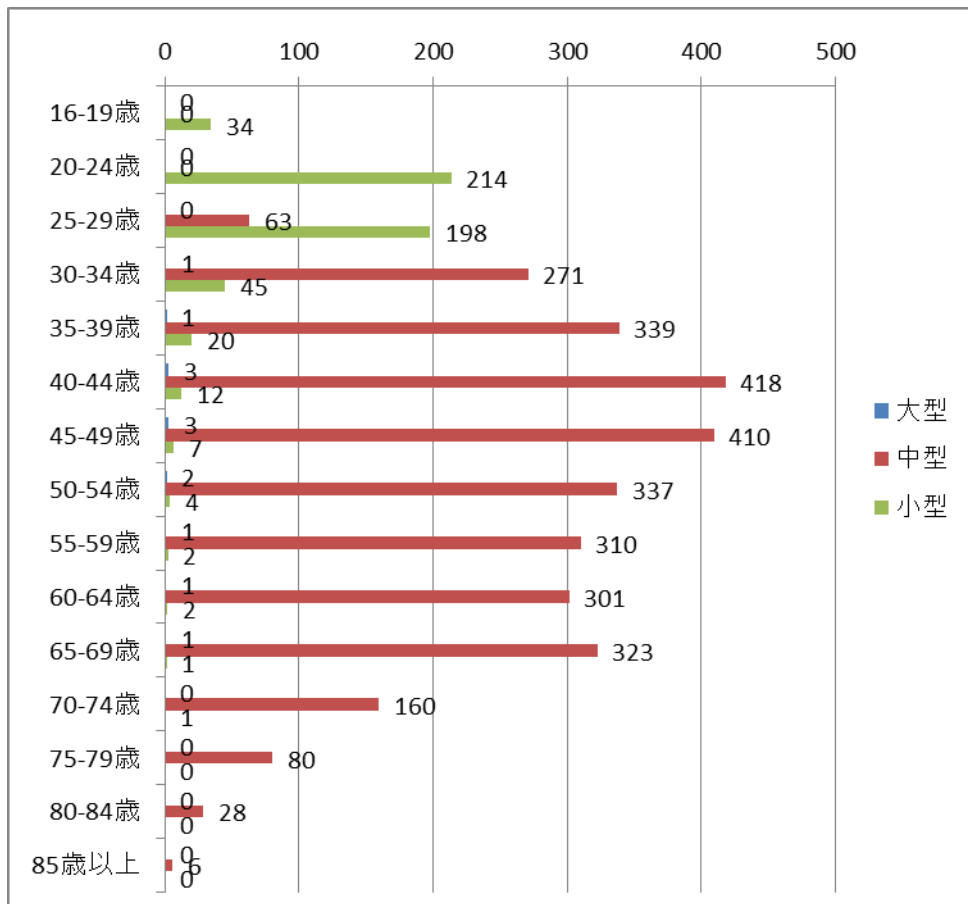


出典：警察庁「運転免許統計」



出典：警察庁「運転免許統計」

- H28年の女性の運転免許保有者数を年齢別にみると、大型及び中型は「40-44歳」及び「45-49歳」、小型は「20-24歳」及び「25-29歳」が多くなっている。
- 中型の60歳以上は約899万人となっており約3割を占めている。

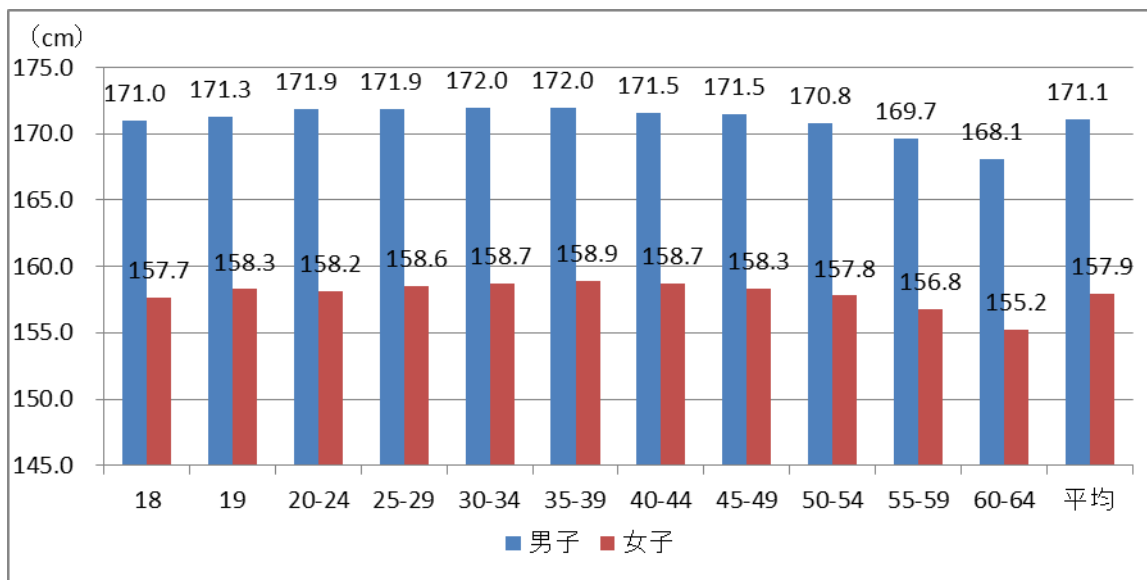


出典：警察庁「運転免許統計」

4. 体力・運動能力調査（18-64歳の平均で算出）

4.1 身長

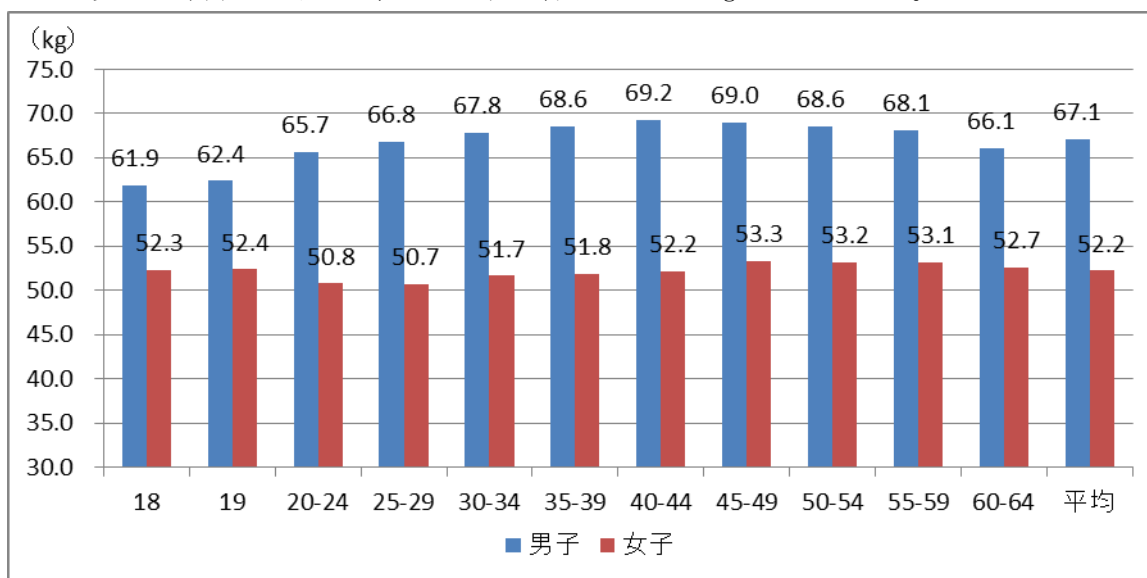
- ・18-64歳の平均身長をみると、H28年は男子171.1cm、女子157.9cmとなっており、13.2cmの差がある。（平均は年齢区分の数値により算出しており、各区分のn数は考慮していない、以下同じ）
- ・女子を年齢別にみると、35-39歳が最も高く158.9cmとなっている。



出典：数字で見る統計「体力・運動能力調査」平成28年度

4.2 体重

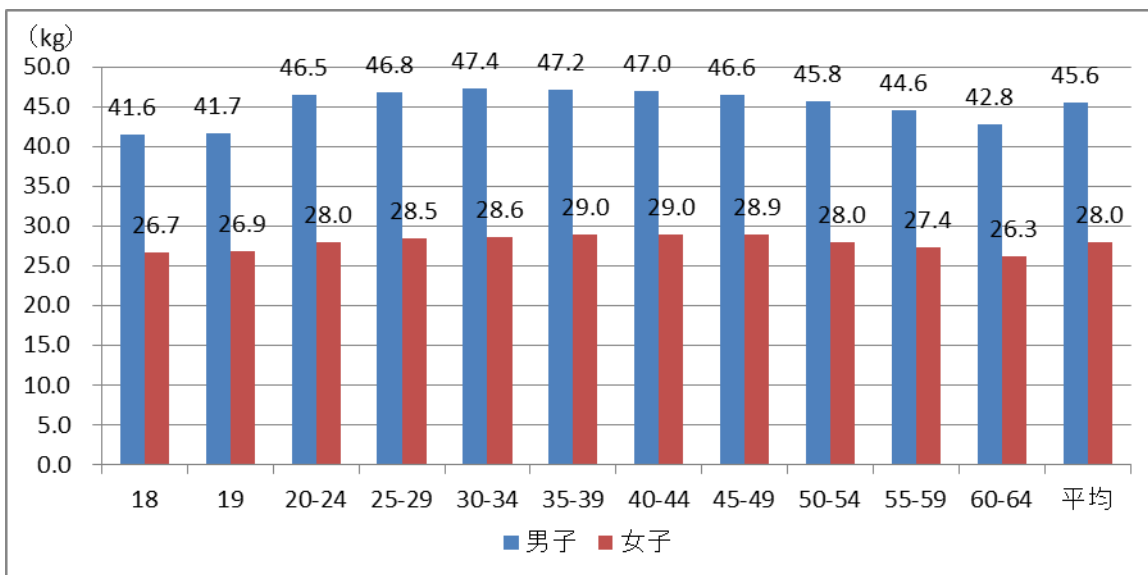
- ・18-64歳の平均体重をみると、H28年は男子67.1kg、女子52.2kgとなっており、14.9kgの差がある。
- ・女子を年齢別にみると、45-49歳が最も重く53.3kgとなっている。



出典：数字で見る統計「体力・運動能力調査」平成28年度

4. 3 握力

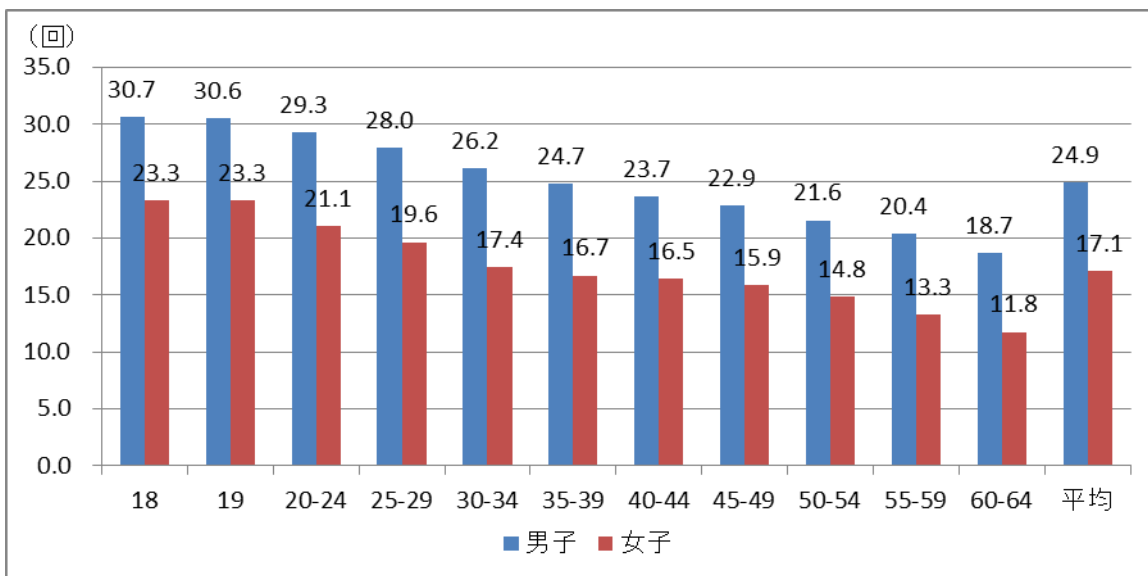
- ・18-64 歳の平均握力をみると、H28 年は男子 45.6kg、女子 28.0kg となっており、17.6kg の差がある。
- ・女子を年齢別にみると、35-39 歳及び 40-44 歳が最も強く 29.0kg となっている。



出典：数字で見る統計「体力・運動能力調査」平成 28 年度

4. 4 上体起こし

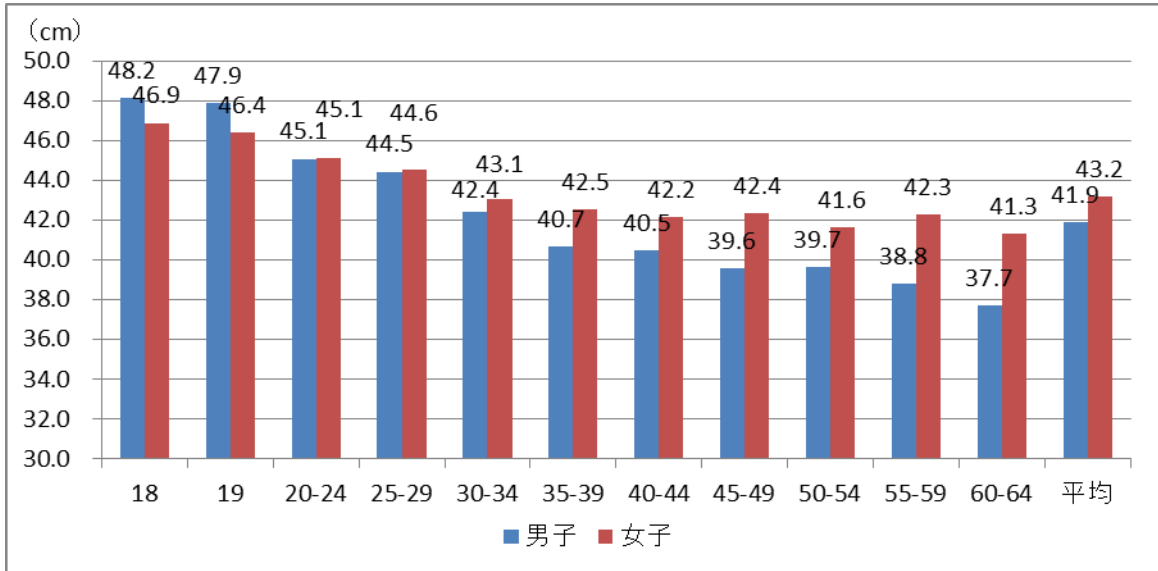
- ・18-64 歳の 30 秒間における平均上体起こし回数（いわゆる腹筋の回数）をみると、H28 年は男子 24.9 回、女子 17.1 回となっており、7.8 回の差がある。
- ・女子を年齢別にみると、18 歳及び 19 歳が最も多く 23.3 回となっている。



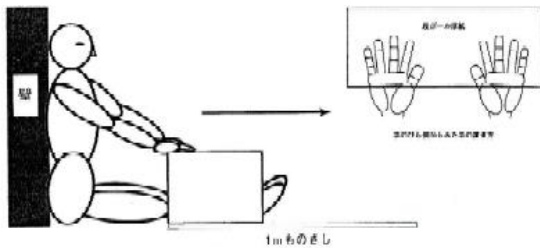
出典：数字で見る統計「体力・運動能力調査」平成 28 年度

4. 5 長座体前屈

- 18-64 歳の平均長座体前 (いわゆる前屈) をみると、H28 年は男子 41.9cm、女子 43.2cm となっており、1.3cm の差がある。
- 女子を年齢別にみると、18 歳が最も柔らかく 46.9cm となっている。



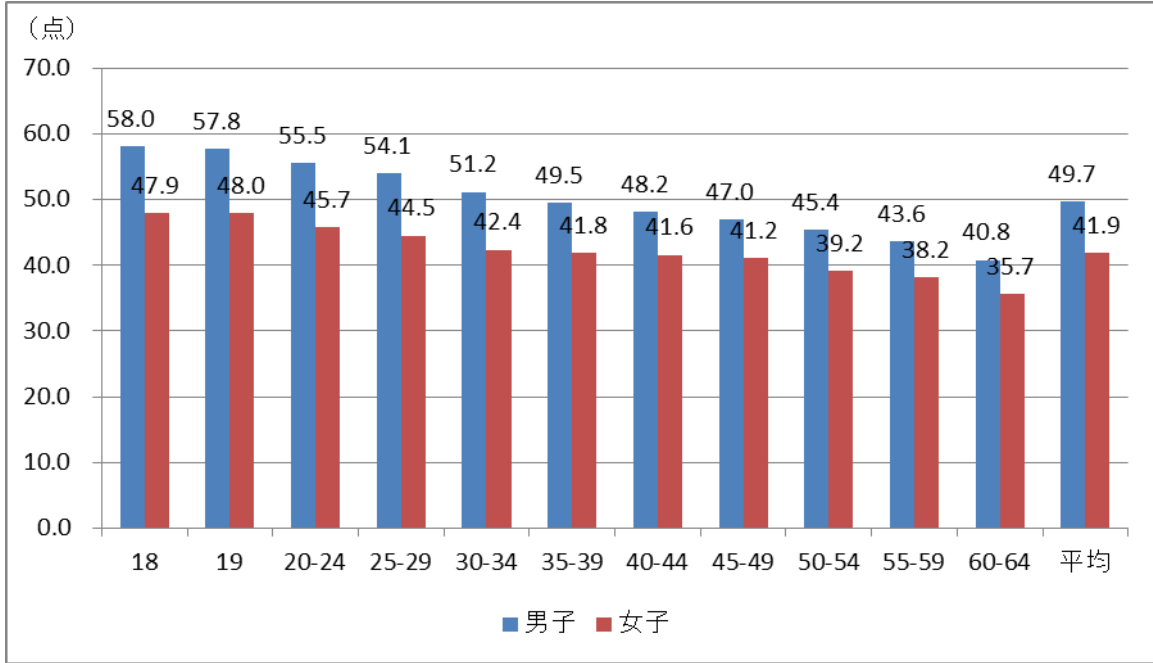
出典：数字で見る統計「体力・運動能力調査」平成 28 年度



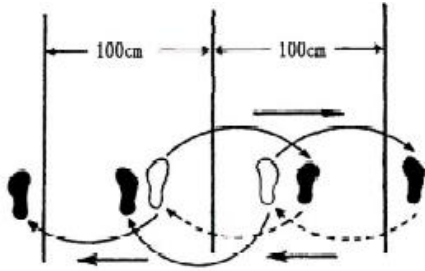
引用：文部科学省「新体力テスト実施要項」

4. 6 反復横跳び

- 18-64 歳の 20 秒間における平均反復横跳びの点数をみると、H28 年は男子 49.7 点、女子 41.9 点となっており、7.8 点の差がある。
- 女子を年齢別にみると、19 歳が最も高く 48.0 点となっている。



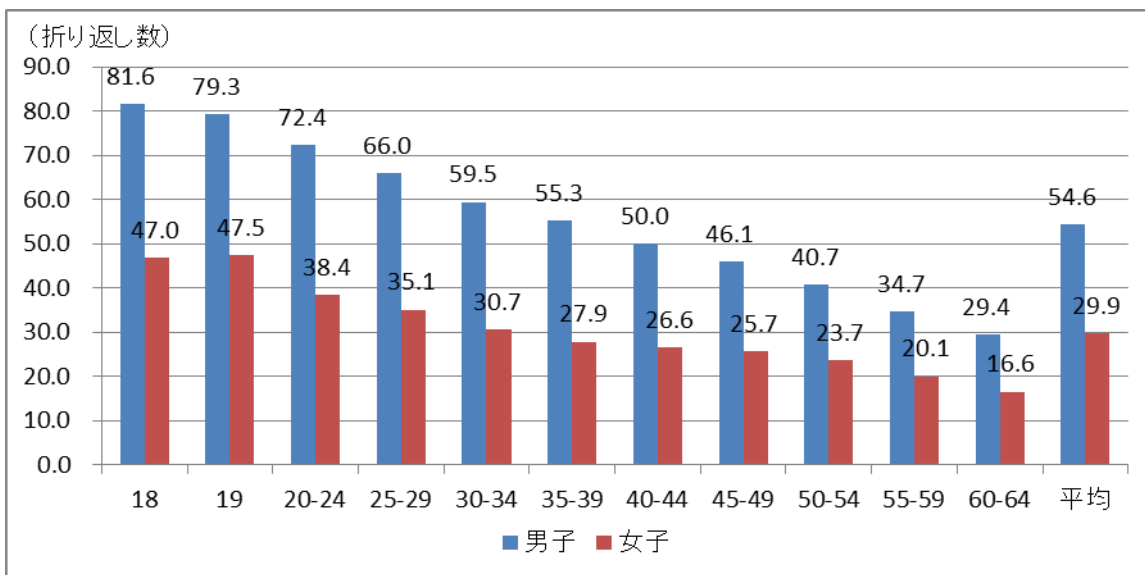
出典：数字で見る統計「体力・運動能力調査」平成 28 年度



ラインを通過する毎に 1 点

4. 7 20m シャトルラン (往復持久走)

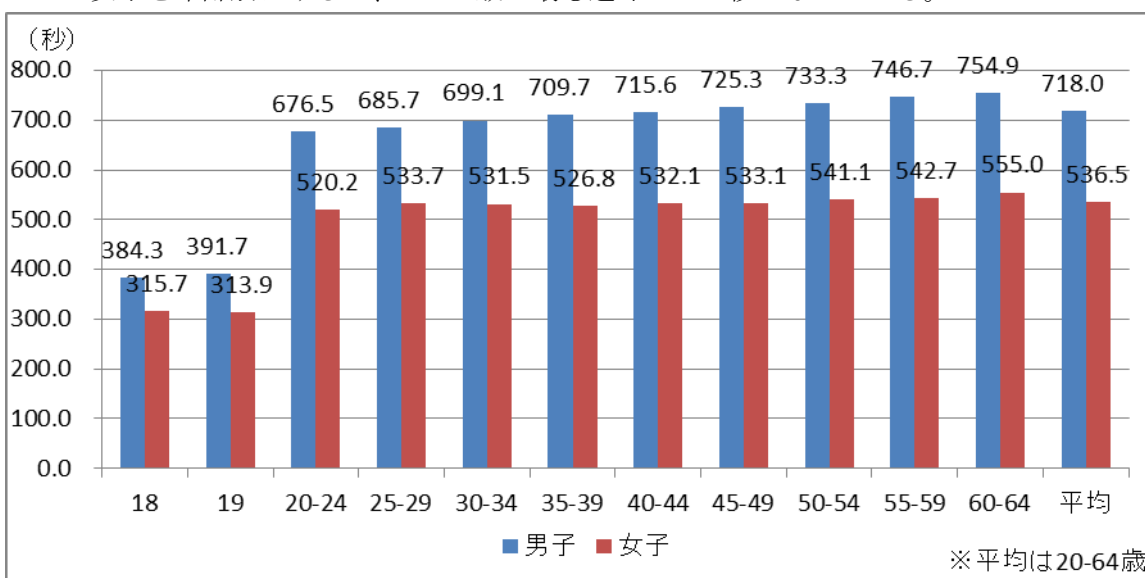
- ・18-64歳の20m シャトルランの折り返し数をみると、H28年は男子54.6折り返し数、女子29.9折り返し数となっており、24.7折り返し数の差がある。
- ・女子を年齢別にみると、19歳が最も多く47.5折り返し数となっている。



出典：数字で見る統計「体力・運動能力調査」平成28年度

4. 8 持久走・急歩 (男子1,500m、女子1,000m)

- ・20-64歳の急歩の秒数をみると、H28年は男子718.0秒、女子536.5秒となっている。
- ・女子を年齢別にみると、20-24歳が最も速く520.2秒となっている。

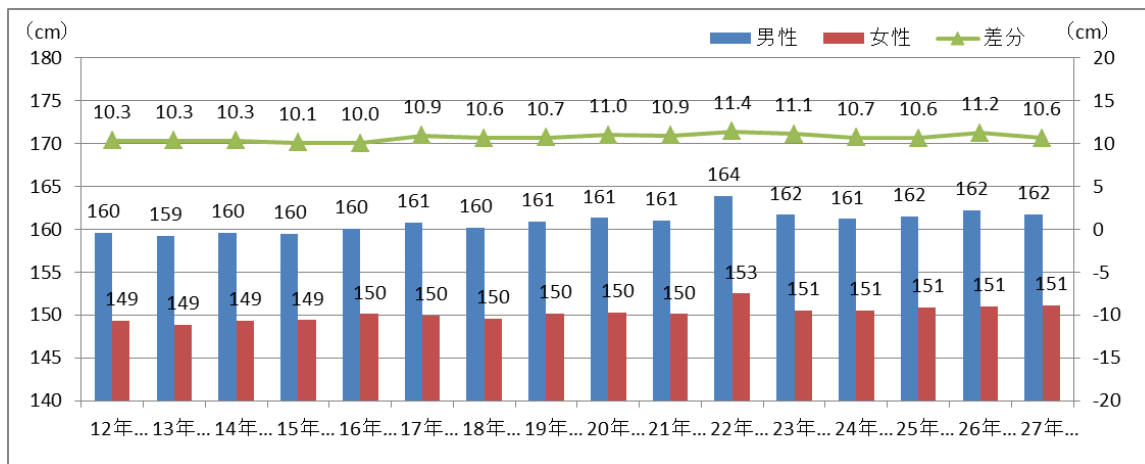


※18、19歳は持久走、20から64歳までは急歩

出典：数字で見る統計「体力・運動能力調査」平成28年度

5. 身長推移

- ・身長推移をみると、男子 159cm～164cm、女子 149cm～153cm となっている。
- ・性別間の差も各年 10～11cm 程度となっている。



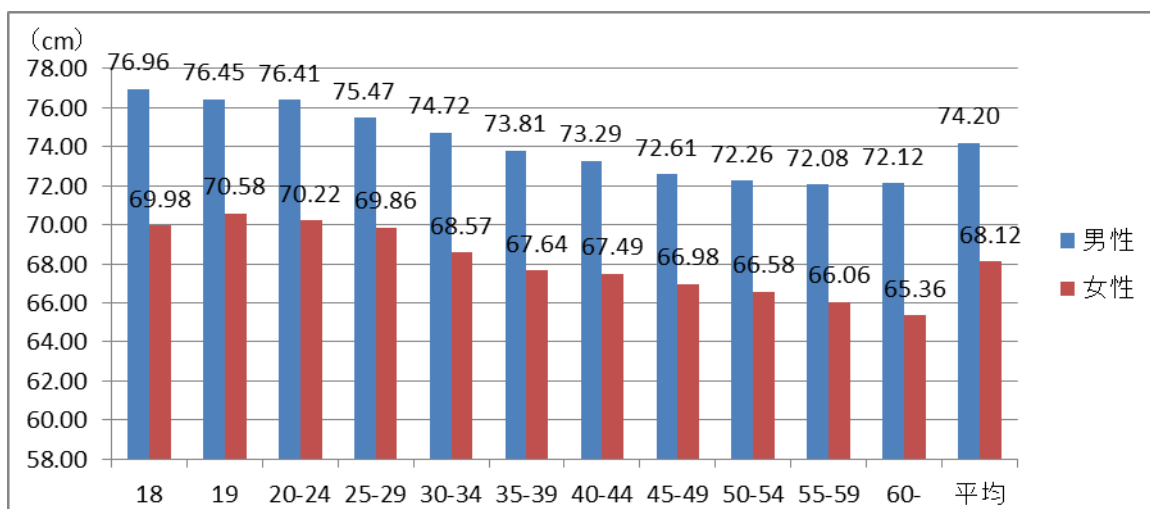
出典：厚生労働省「国民健康・栄養調査」平成 27 年

6. 「人間工学基準 数値数式便覧」(1992 年) に基づく各種指標

※年齢別に男女の差が分かるが、データが古く、この後、更新データがないこと

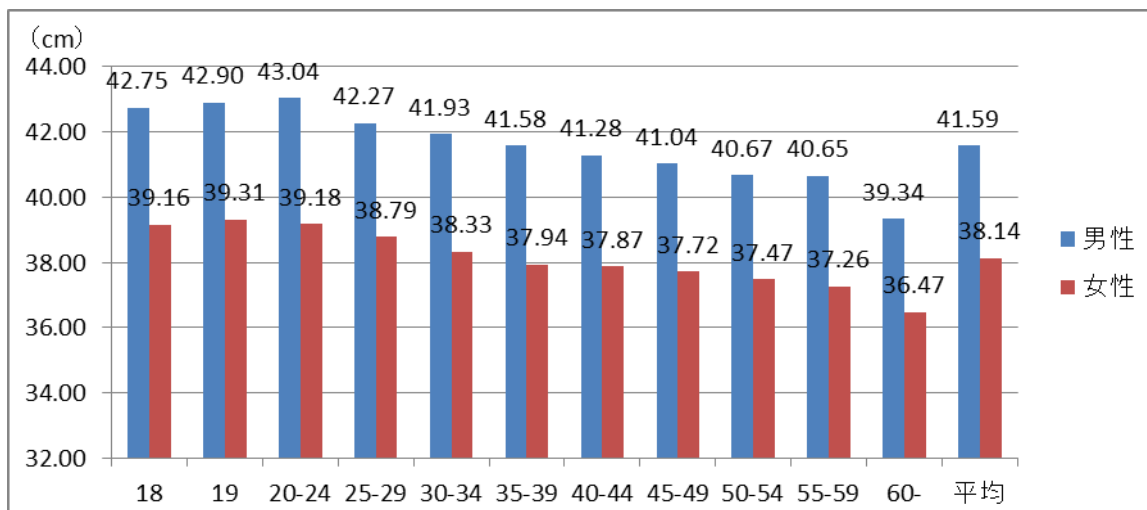
6. 1 股下高さ

- ・平均股下高さをみると、男子 74.20cm、女子 68.12cm となっており、6.08cm の差がある。(平均は年齢区分の数値により算出しており、各区分の n 数は考慮していない、以下同じ)
- ・女子を年齢別にみると、19 歳が最も長く 70.58cm となっている。



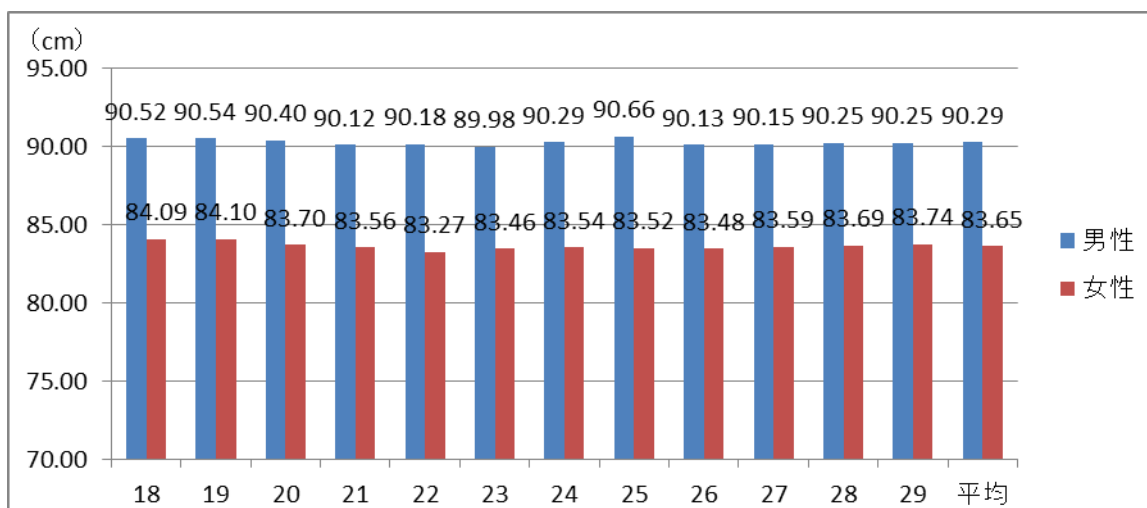
6. 2 膝高

- 平均膝高をみると、男子 41.59cm、女子 38.14cm となっており、3.45cm の差がある。
(平均は年齢区分の数値により算出しており、各区分の n 数は考慮していない、以下同じ)
- 女子を年齢別にみると、19 歳が最も長く 39.31cm となっている。



6. 3 座高

- 平均座高をみると、男子 90.29cm、女子 83.65cm となっており、6.64cm の差がある。
(平均は年齢区分の数値により算出しており、各区分の n 数は考慮していない、以下同じ)
- 女子を年齢別データは 29 歳までしかない。



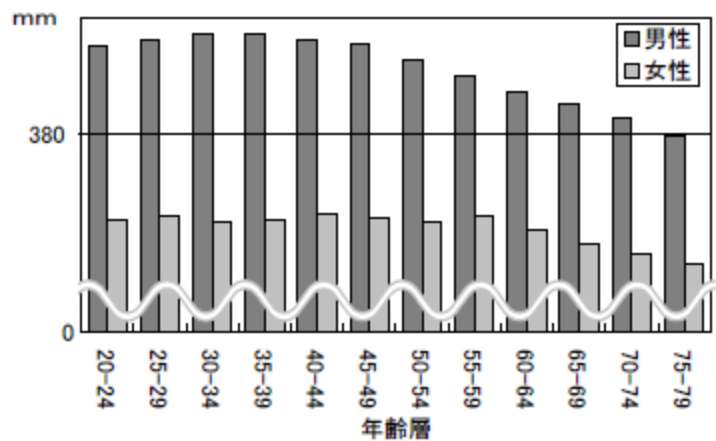
7. 「人間特性基盤整備事業成果報告書」(社団法人人間生活工学研究センター、平成19年3月)に基づく各種指標

※年齢別に男女の差が分かるが、実数値が公表されておらず把握できない

※一部参考として紹介

計測項目 No.81

B32 肩峰間隔

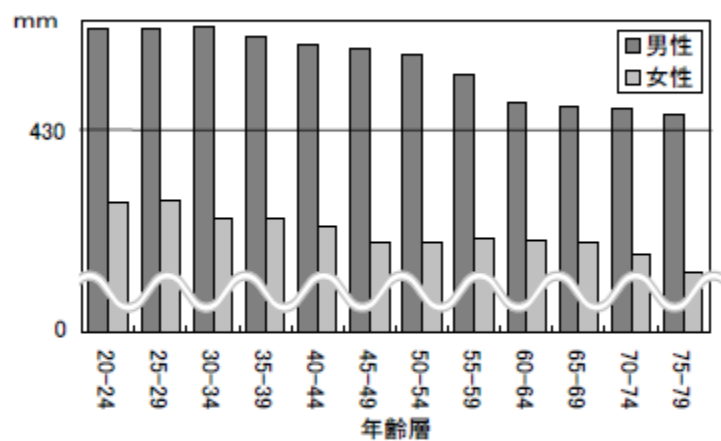


計測器：桿状計

定義：左右の肩峰点間の直線距離（必ずしも水平でない）

計測項目 No.99

B51 前腕手長

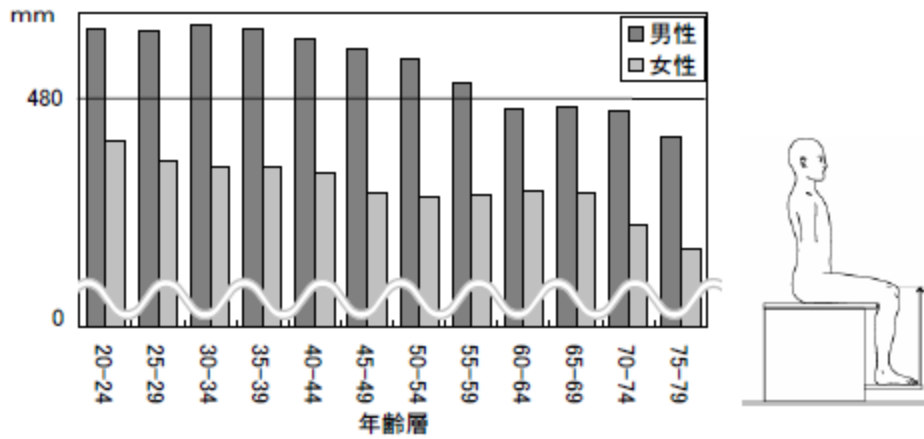


計測器：桿状計

定義：肘を直角に曲げたときの、肘頭後縁から指尖までの水平直線距離

計測項目 No.114

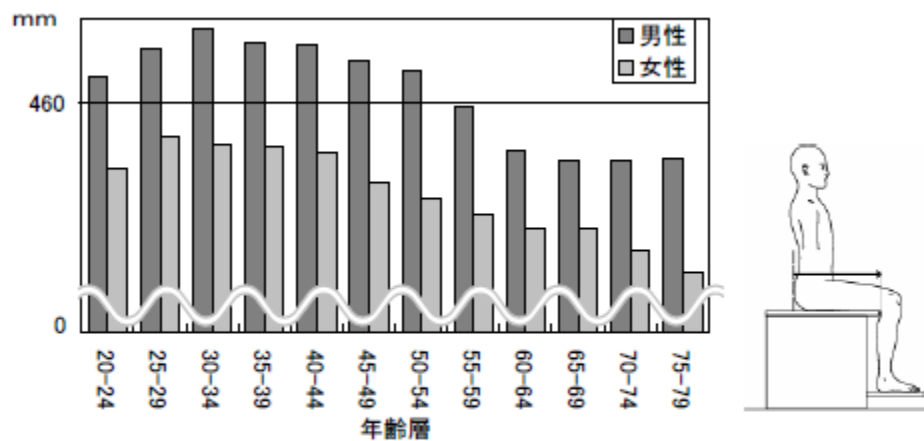
D5 座位膝蓋骨上縁高



計測器：アントロポメータ

計測項目 No.123

D14 座位臀・膝窩距離



計測器：座位用椅子の金尺

定義：座面前縁から臀部最後端までの水平直線距離